

◆日本イーライリリー株式会社

事業内容	製薬業
所在地	本社:兵庫県神戸市 その他事業所:東京
従業員数	1,700名(2007年4月現在)
主な制度・取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 私傷病休業(シックリープ)という形で、体調を壊した場合、最長1ヶ月間は有給休暇とは別途給与、賞与全額保障。風邪等での短期の病欠から利用可能。 ▶ 看護休暇は、未就学の子どもだけではなくそれ以外の家族(配偶者や就学児童もあり)についても取得可能で有給。子どもの看護の時は通常の有給休暇よりもこの休暇を優先的に利用可能。 ▶ フレックスタイム制度は短時間勤務との併用も可。 ▶ 育児/介護のファミリーケアが必要な社員で一定の等級、勤続年数の社員は週3日までの在宅勤務が可能。短時間勤務との併用も可。 ▶ ダブルカバー制度:MR(営業職)の中で、短時間勤務者がでた場合に、1つのテリトリーを他のMRと共有したり、バックアップする。通常、1つのテリトリーは1人担当が基本であるが、短時間勤務の人については、社員または外部派遣社員に勤務時間を削減した部分について、代替してもらう制度となっている。短時間勤務者が複数のテリトリーのバックアップとして活動することもある。 ▶ リリーフMR制度:派遣MRと契約して、育休等休業取得者の休業期間の代替要員の確保し、休業者の「穴をあけてしまう」という心理的プレッシャーを取り除くようにしている。 ▶ メンタル面だけではなく、育児相談を含めた社員の健康保持のために、EAP(Employee Assistance Program)を導入し、年間60件近くの利用がある。
マネジメントについて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 女性を十分に活用できていないということが長期的には会社の競争力にかかわるとする考えのもと、ここ数年ジェンダーダイバーシティに取り組んできて、その中でワーク・ライフ・バランスに関する制度が誕生。 ▶ womens network(リーダーズグループ11名を決めて、様々な意識向上のための年間活動を行う)があり、会社の推進体制の一環を担っている。 ▶ 処遇の基本理念として、Competitive in the market(報酬水準はマーケットの中で決まる)、pay for performance(成果に応じた報酬)というものがあるので、成果主義は自然に行っている。 ▶ シックスシグマ(1980年代初頭に、アメリカで開発され、生産プロセス改革に用いられた手法)を活用した業務の効率化・生産性の継続的な向上に、全社的な優先課題として取り組んでいる。
コスト・メリットについて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リリーフMR制度のための派遣MRには、製品知識をしっかりとつけるために、1ヶ月間の研修に参加してもらう。復職するMRにも製品知識の研修をしっかりと行う。そのため、代替要員を入れる際にはかなりの研修コストがかかる。 ▶ 行政等で表彰され、いろいろなところでPRされることにより、社内のモチベーションアップにもつながっている。 ▶ 女性の離職率は下がってきているように思われる。
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「働きがいのある会社」調査で2年連続上位企業にランキング ▶ 2004年「こうべ男女いきいき事業所表彰」受賞 ▶ 2006年「均等推進企業表彰」の「兵庫県労働局長優良賞」受賞